

疾病論4 (試験問題 (25 点)) 担当 川越

1. 次の選択肢で誤っているものを1つ選びなさい。(2 点)

- 1) ショック状態の評価にはバイタルサインに加え尿量の情報が重要である。
- ✓ 2) 出血性ショックでは血圧は上昇し脈拍数は減少する。
- 3) 妊婦は細菌性ショックに陥りやすい。
- 4) 重症傷病が原因となる臓器障害を多臓器機能障害症候群とよぶ。

2. 次の選択肢で誤っているものを1つ選びなさい。(2 点)

- 1) クスコーを用いる診察を腔鏡診という。
- 2) 直腸診では子宮頸がんなどの浸潤状態の評価を行う。
- ✓ 3) 子宮頸部の検査ではまずは組織診を行い次に必要に応じ細胞診を行う。
- 4) 子宮頸部の組織診を行うときにはコルポスコープを使用する。

3. 次の選択肢で誤っているものを1つ選びなさい。(2 点)

- ✓ 1) 腫瘍マーカー検査はがん発見のためのスクリーニング検査として広く用いられている。
- 2) 子宮頸がんの原因であるヒトパピローマウイルスは HPV ワクチンで高率に予防できる。
- 3) HPV の 16 型、18 型は子宮頸がんの原因となる。
- 4) HPV ワクチンで尖圭コンジローマの予防が可能である。

4. 次の選択肢で誤っているものを1つ選びなさい。(2 点)

- 1) 若年女性で大腸がんと子宮体がんを発症した場合にはリンチ症候群を疑う。
- ✓ 2) MRI 検査は主に全身の病変のスクリーニング検査に用いられる。
- 3) PET 検査では癌細胞が正常の細胞より多くのグルコースを取り込むのを検査に応用している。
- 4) CT 検査は短時間での撮影が可能であるが放射線被爆を考慮する必要がある。

5. 次の選択肢で誤っているものを1つ選びなさい。(2 点)

- 1) エストロゲン依存性のがんには乳がんと子宮体がんがある。
- 2) 子宮体がんのリスク因子には肥満、未産婦がある。
- ✓ 3) 子宮頸がんのリスク因子には喫煙、経産婦がある。
- 4) 子宮がん検診は子宮体がんの検診のことを指す。

6. 次の選択肢で誤っているものを1つ選びなさい。(2点)

- 1) 腹水の性状を確認する検査の方法としてダグラス窩穿刺がある。
- 2) 卵巣がん、子宮頸がん、子宮体がんは何れも近年増加傾向である。
- 3) 子宮下垂、子宮脱は老化や多産が原因となる。
- 4) 子宮は胎生8週ごろにウォルフ管が癒合することで形成される。✓

7. 次の選択肢で誤っているものを1つ選びなさい。(2点)

- ✓ 1) 子宮腺筋症では境界明瞭な腫瘍が子宮筋層内に発生する。✓
- 2) 子宮筋腫は良性の腫瘍であり閉経後は縮小する。
- 3) 子宮内膜症が高度になると不妊症の原因となる。
- 4) 卵巣に発生する子宮内膜症性嚢胞は高齢になると癌化することがある。

8. 次の選択肢で誤っているものを1つ選びなさい。(2点)

- 1) 卵巣がんの多くは卵巣の上皮から発生する。
- 2) 成熟嚢胞性奇形腫は胚細胞腫瘍であり卵巣腫瘍で最も多い。
- 3) 遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)は男性の乳がんのリスクも増大する。
- ✓ 4) 卵巣がんは子宮体がん、子宮頸がんに比べ初期で見つかることが多い。

9. 次の選択肢で誤っているものを1つ選びなさい。(1点)

- 1) 絨毛性疾患は東洋人に多い。
- ✓ 2) 正常妊娠に引き続き絨毛癌が発生することはない。
- 3) 胎状奇胎ではhCGが異常高値を示す。
- 4) 胎状奇胎の術後は血中のhCG値と基礎体温のモニタリングを行う。

10. 次の選択肢誤っているものを1つ選びなさい。(2点)

- 1) 低用量ピルは月経困難症の治療に使用される。
- 2) ピルの使用時には血栓症に注意が必要である。
- ✓ 3) 異所性妊娠は卵管峡部に最も多く認める。
- 4) 腹痛と腹水貯留を認め異所性妊娠が疑われる場合には緊急手術を行う。

11. 次の選択肢で誤っているものを1つ選びなさい。(2点)

- 1) 女性の染色体は46,XXである。
- 2) ターナー症候群は45,Xを代表とする性染色体異常症である。
- 3) 母体が高年齢になると胎児の染色体異常の頻度も増加する。
- ✓ 4) 染色体の数的異常で多いものに22番、18番、13番染色体のトリソミーがある。

疾病論4 試験問題 (25点) 相当 出題

12. 次の選択肢で誤っているものを1つ選びなさい。(2点)

- 1) 性分化疾患(DSD)とは精巣・卵巢や外性器の発育が非典型的である状態をいう。
- 2) 日本では戸籍法により出生後14日以内に氏名と性別を登録する義務が親権者にある。
- 3) クラインフェルター症候群は47,XXYを代表とする性染色体異常症である。
- ✓ 4) 46,XYの性分化疾患であるアンドロゲン不応症では表現型が男性型になる。

13. 次の選択肢で誤っているものを1つ選びなさい。(2点)

- 1) 性器ヘルペスの初感染はその再発時に比べ症状が重篤である。
- ✓ 2) 性感染症で最も多いのは性器ヘルペスである。
- 3) カンジダ膣炎では酒かす様の帯下を認める。
- 4) トリコモナス膣炎の原因は原虫であり帯下を顕微鏡で観察し診断を行う。

3. 次の選択肢で誤っているものを1つ選びなさい。(2点)

- 1) 腫瘍マーカー検査はがん発症のためのスクリーニング検査として広く用いられている。
- 2) 子宮頸がんの原因であるヒトパピローマウイルスはHPVワクチンで高率に予防できる。
- 3) HPVの16型、18型は子宮頸がんの原因となる。
- 4) HPVワクチンで完全コンジローマの予防が可能である。

4. 次の選択肢で誤っているものを1つ選びなさい。(2点)

- 1) 若年女性で大腸がんと子宮体がんを発症した場合にはリンチ症候群を疑う。
- ✓ 2) MRI検査は主に全身の癌のスクリーニング検査に用いられる。
- 3) PET検査では癌細胞が正常の細胞より多くのグルコースを取り込むのを検査に活用している。
- 4) CT検査は短時間で撮影が可能であるが放射線被曝を考慮する必要がある。

5. 次の選択肢で誤っているものを1つ選びなさい。(2点)

- 1) エストロゲン依存性のがんには乳がんと子宮体がんがある。
- 2) 子宮体がんのリスク因子には肥満、未産婦がある。
- ✓ 3) 子宮頸がんのリスク因子には喫煙、経産婦がある。
- 4) 子宮がん検診は子宮体がんの検診のことを指す。

疾病論 4

母性看護学方法論 2 (川越先生)

令和 7 年 9 月 22 日 (月) 実施

No. _____ 氏名 _____

1 2	2 3	3 4	4 3	5 4
--------	--------	--------	--------	--------

6 4	7 1	8 4	9 2	10 4
--------	--------	--------	--------	---------

11 4	12 3	13 4
---------	---------	---------

各 2 点 (※9 番のみ 1 点)

15
点 / 25 点